

■東日本大震災被災者支援活動を継続します

2013 年 3 月末をもって、被災地内に事務局を設置しての被災者支援活動は、現地の地域団体に引き継ぐ形で終了しました。2013 年度は、被災地から東京へ避難している方々への支援と、この 2 年間の支援活動の中で縁ができた仮設住宅や地域の方々との訪問交流活動を東日本大震災被災者支援活動として実施します。

<広域避難者支援連絡会 in 東京での取り組み>

2013 年 5 月に発足した「広域避難者支援連絡会 in 東京」のメンバーとして、都内に避難している方々の支援に取り組みます。

■広域避難者支援連絡会 in 東京

経過：2013 年 3 月 24 日に開催された「広域避難者支援ミーティング in 東京」を東日本大震災支援全国ネットワークとともに準備運営した団体が広域避難者支援の都内での情報共有を図り立ち上げたネットワーク

- 目的：（１）避難者支援団体の交流、連携を促すための情報交換の場を提供し、様々な支援手法・アイデアを共有し、さらなる支援の充実・工夫を図る
- （２）専門家の取組、支援団体が活用できる助成など、支援の参考となる情報を紹介する
- （３）東京都内における避難者支援団体の交流を進め、地域でのネットワークづくりやその強化を図る

内容：（１）広域避難者支援ミーティングの開催

実施日時：2013 年 7 月 11 日（木）実施済

実施予定：2013 年秋、2014 年冬

（２）情報収集と情報発信

参加団体：東京ボランティア・市民活動センター/公益財団法人さわやか福祉財団/東京都生協連/震災がつなぐ全国ネットワーク/中央労働金庫/災害復興まちづくり支援機構/荒川区社会福祉協議会/全国労働者共済生活協同組合連合会/いたばし総合ボランティアセンター/オリックス財団/東京災害ボランティアネットワーク

事務局：東京ボランティア・市民活動センター

<被災地での訪問交流活動>

2011年3月から2年間にわたり継続した東日本大震災被災者支援活動でできた縁を大切にしながら、仮設住宅でのイベントや横山不動尊を中心とした地域のイベントを通じて訪問交流活動を実施します。

■横山不動尊春大祭への協力

日時：2013年4月27日（土）～29日（月）

内容：春大祭での湯茶の接待

■横山不動尊厄流しそうめんへの協力

日時：2013年8月3日（土）～5日（月）

内容：厄流しそうめんでのかき氷の提供

上記以外にも、下記取り組みへの協力を検討しています。詳細が決定次第、各団体へお声掛けをさせていただきます。

◇南方ⅠⅡ期仮設住宅夏祭り（8月20日（火））

◇登米秋祭（9月14日（土）～15日（日））

◇横山不動尊秋の太鼓祭り（9月15日（日））

◇横山ⅠⅡ期仮設住宅秋の交流会（未定）

なお、これらのプログラムについては、参加費をいただくことを基本とさせていただきます。



横山不動尊の厄流しそうめんやふれあい太鼓は、近隣の仮設住宅の住民の方々も大勢参加する地域のイベントとなっております。

■首都圏での大災害に向けた取り組みを実施します

東京災害ボランティアネットワークは、想定される首都圏直下型地震の発生に備え、具体的な対応策の検討に着手します。

<首都直下地震帰宅困難者等対策連絡調整会議への参画>

2013年1月30日に、「首都直下地震帰宅困難者等対策協議会」の最終答申を受けて発足した「首都直下地震帰宅困難者等対策連絡調整会議」へ積極的に参画します。

◇ワーキンググループと帰宅困難者対応訓練について

2013年6月14日に開催された第二回会議後、一時滞在所について、初めてワーキンググループ（分科会）が開催されました。今後は、訓練についてのワーキンググループを提案し、その中で帰宅困難者対応訓練の実施を検討できる環境作りを進めていきます。

<内閣府防災ボランティア活動検討会への参画>

2013年秋～冬に開催が予定されている内閣府防災ボランティア活動検討会へ積極的な参画をします。

◇東日本大震災後の新たな動きについて

東日本大震災を経て、災害ボランティア（防災ボランティア）の動きは大きな変化を迎えています。内閣府の防災ボランティア活動検討会でも、新たな動きを期待する流れがあり、東災ボとしても、積極的に意見交換させてもらいながら具体的な取り組みつながらるよう環境作りを進めていきます。

<東京都災害ボランティアセンター(仮)の運営等に関する検討委員会への参画>

東京都と東京ボランティア・市民活動センターが進めている検討委員会の運営を両者とともに進めていきます。

◇分科会設置について

2013年6月11日には第三回検討委員会が開催され、これまで出てきた課題に対しては分科会（人材育成/市区災害VCの設置運営支援/関係機関との連携/情報収集と発信）で議論することになりました。東災ボはこれら分科会の運営についても東京ボランティア・市民活動センターと共に積極的に関与していきます。

◇東京都災害 VC(仮)運営マニュアルについて

分科会と並行して取り組まれる東京都災害 VC(仮)運営マニュアルについても、東京ボランティア・市民活動センターや関係機関と意見交換をしながら進めています。

■地域や組織・団体の防災力向上に向けて取り組みます

地域や組織・団体といった「面として」の防災力向上に向け、市民講座や研修などを開催します。また、地域や組織・団体の講座・研修に講師派遣・プログラム提供をおこなうことで、防災力向上に向けた取り組みを実施します。

- ◇ 都道府県・市区町村社会福祉協議会での災害ボランティア講座・研修等
- ◇ 町会・自治会における防災市民講座等
- ◇ 東災ボ参加団体内外の各団体における災害ボランティア研修・講座、災害体験訓練等



各種講座や研修では、数多くの団体が講座や研修を通じて連携できるように、また参加者の方々が楽しみながら気づきを得られるように、東災ボらしいグループワークを中心としたプログラムを提案していきます。

■ 広く市民の方々の防災・減災意識啓蒙に向けて取り組みます

より多くの様々な主体が参画・協働できるイベント型啓蒙活動やシンポジウムを実施します

◇1.17 イベントの開催

2014年1月17日近辺に、参加者の気づきにつながるプログラムを実施していきます。また、2011年3月11日に発災した東日本大震災に向けた取り組みも検討していきます。

■ 東災ボ参加団体、および関係団体との連携を深めます

東災ボ参加団体はもとより、東日本大震災支援全国ネットワーク（JCN）や、震災がつなぐ全国ネットワーク（震つな）、海外支援 NGO ネットワーク等とも、様々な活動を通して情報交換・意見交換できる関係づくりを構築していきます。

◇広域避難者支援連絡会 in 東京＝JCN との連携

◇東京都災害ボランティアセンター(仮)の運営等に関する検討委員会

＝震つな、海外支援 NGO ネットワーク（JPF や JANIC）との連携

■ 運営体制の拡充を図ります

- ・東災ボの財政強化として、事業や会費・寄付収入の増加に向け東災ボ参加団体や関係機関に各種活動を提案します
- ・昨年度（2012年度）までは、事務局は常勤2名、非常勤4名(内、東日本大震災支援担当が3名)の体制となっていました。現地常駐の東日本大震災支援が終了したことで、事務局員は常勤2名、非常勤1名となっています。
- ・また、2013年度総会後に非常勤事務局員が退任することから、事務局員の補充が急務となっています。

■ 三宅島との交流支援活動に取り組みます

- ・東京災害ボランティアネットワークは、会員団体、関係団体と連携しながら、今年度も「みやげしまく風の家」を通じた交流支援活動に主体的に取り組みます。